



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

<http://www.jcp-ktib.com/>

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

あけてびっくり住民税

市役所にも問合せ殺到

自民・公明がすすめた大增税 …だまっていればこれからも

いま全国各地で、年金生活者など高齢者に対する増税が襲いかかっています。住民税の納付通知書が発送された6月には、北茨城市役所にも「こんなに上がったのは計算の間違いではないか」等々の100件近い問合せが殺到しました。老年者控除の廃止や、公的年金等控除の縮小、高齢者の非課税限度額の廃止、定率減税の半減などによる

もので、「昨年の2〜3倍になった」「5万円も増税になった」という人もいます。

これは04年に自民党・公明党の政府が提出して決めたものです。日本共産党は「所得税・住民税が増えれば、国保税、介護保険料も雪だるま式に増税になり、高齢者にとって耐えられないものになる」として反対しました。その懸念が現実



あじさいロード。(大北川の堤防)

たちあおい。いちばん上まで花が咲くと梅雨が明けるとか。(関南町)



梅雨に映える

のものになってしまいました。今後も、定率減税の全廃などが決められており、いつそきびしい増税がねらわれています。

日本共産党は、①高齢者への大增税はただちに中止して見直しをはかること、②今後、実施予定の増税については凍結すること、を政府に申し入れています。党市議団もその立場で告発し、負担軽減のために力をつくす決意です。

平潟の荷捌き場解体工事



平潟港にある旧荷捌き場の解体工事がおこなわれています。予算は1800万円、うち平潟漁協の負担は150万円です。この後、県は港湾道路に着工予定ですが、本当に必要な道路なのか、地元でも疑問の声が聞かれます。

主な議案への賛否

6月議会での主な議案に対する日本共産党議員団の賛否は次のとおりです。

専決処分とされた「北茨城市市税条例の一部を改正する条例」について、上の記事にあるとおり定率減税の縮小など、住民の負担増につながる内容であるとして反対しました。

また議案「都市漁村交流施設漁業歴史資料資料館新築工事請負契約の締結について」は、通称「お船会

館」の縮小・凍結を主張、予定規模の変更がないままの工事契約は認められないとして反対しました。

いっぽう、議案「辺地総合整備計画の策定について」は、花園地域の携帯電話などの通信状況の改善のための鉄塔2基の設置にかかる予算措置として賛成しました。

さらに「北茨城市特別職の給与に関する条例」は、市長・助役・教育長の給与を1割カットする内容で、これにも賛成しました。

日本共産党躍進のつどい



日立市議 根本陽一が
県議選に向け決意

7月12日、水戸市内で日本共産党躍進のつどいが開

かれました。紙智子参議院議員らとともに、根本陽一県議選日立予定候補が、「いま赤旗しんぶんに日製を取材した、止まらぬ日立病」が連載され、成果主義のもとでの精神障害の増加などを告発しています。日立選挙区は、現職5議席がオール与党、大企業言いなりです。この壁をうち破り、暮らしを守り、住みよい街づくりをめざして力一杯たたかいます」と、決意を述べました。